

両

花園大学歴史博物館
開館20周年記念

いま開かれる

秘蔵資料

院

萬物道立警光奇警聲珊瑚
掛貝枝却恐水容人不密時
秘警學深處脂

村産堂志



墨梅図 希世靈彦賛 伝周文筆
室町時代(15、16世紀)〔後期〕

2020年4月2日〔木〕—6月13日〔土〕

◎前期…4月2日〔木〕—5月9日〔土〕
◎後期…5月11日〔月〕—6月13日〔土〕

※会期中、大幅な作品の展示替を行います。

休館日 日曜日(6月7日は開館)、4月29日〔水・祝〕、5月4日〔月・祝〕、5日〔火・祝〕、6日〔水・休〕※但し、大学行事により臨時休館する場合があります。

開館時間 10時—16時(土曜日は14時まで) 入館料 無料 主催 花園大学歴史博物館、公益財団法人 禅文化研究所 協力 両足院

記念講演会 ①「両足院の文物と対馬以酩庵輪番がもたらしたもの」片山真理子(東京藝術大学美術学部附属古美術研究施設非常勤講師・花園大学歴史博物館研究員) 2020年4月21日〔火〕13時—14時30分

②「五山文学の宝蔵を開く—両足院調査を終えて—」赤尾栄慶氏(京都国立博物館名誉館員) 2020年5月12日〔火〕13時—14時30分

会場 花園大学 教室(入場無料 申込不要、先着150名) ※講演会終了後、展覧会場にてキヤリアートーク(本展の担当者による展示作品の解説)を開催します。 ※記念講演会に関するお問い合わせ 公益財団法人 禅文化研究所 TEL075-811-5189 info@zenbunka.or.jp

花園大学歴史博物館

Masterpieces of Zen Culture from

花園大学歴史博物館
開館20周年記念

両足院

いま開かれる秘蔵資料

〔両足院(京都市東山区)は龍山徳見(1284〜1358)を開基とする建仁寺山内塔頭です。龍山徳見は建仁寺開山・明庵栄西(1141〜1215)の法脈・黄龍派につらなる傑僧であり、両足院では師の法灯と教えが連綿と堅持されています。〕

また両足院は、五山文学における最高峰の寺院のひとつとしても知られています。江戸時代には、五山のなかでも学徳抜群の傑僧に与えられる「碩学」が授与されるなど、学問盛んな「建仁寺の学問面」の中核を担いました。さらに、両足院住持のうち雲外東竺等が碩学として対馬・以酩庵に輪住し、対朝鮮外交の二翼を担いました。このようなことから、両足院には質・量ともに他に類を見ない典籍が伝来しています。

このたび、花園大学歴史博物館と禅文化研究所(デジタルアーカイブス事業)との共同にて、書籍・絵画を中心とする両足院所蔵文化財の調査を行う機会を得ることができました。その共同調査の成果として、両足院の多彩な寺宝のなかから未紹介資料を中心に展観します。寺史関連資料をはじめ、以酩庵関連資料、中世・近世絵画の優品を通じ、両足院が歩んだ道を辿ります。



明庵栄西像 絶海中津賛
南北朝～室町時代(14～15世紀)【前期】



龍山徳見像
室町～桃山時代(15～16世紀)【後期】

Masterpieces of Zen Culture



月夜墨梅図 維明周奎筆
江戸時代(18～19世紀)【後期】



達磨図 雲谷等顔筆
桃山～江戸時代(16～17世紀)【前期】



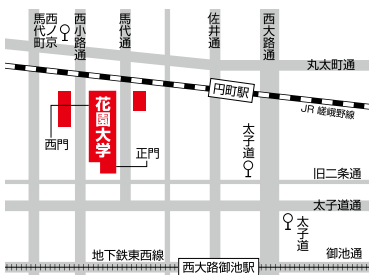
列子図 伝曾我蛇足筆
桃山～江戸時代(16～17世紀)【後期】



布袋図 月舟寿桂賛
室町時代・大永6年(1526)【前期】

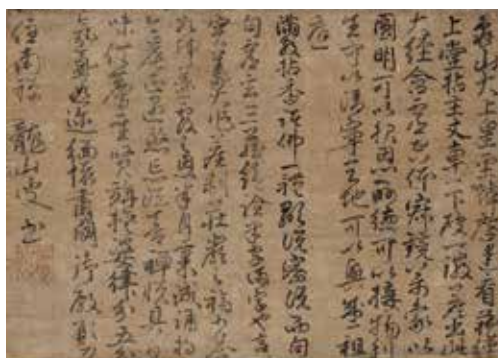


蓮舟観音図 伝明兆筆
室町時代(16世紀)【後期】



〔交通案内〕●京都市西門外・JR嵯峨野線「門町駅」下車徒歩8分、市バス26・205「太子通」下車徒歩5分 ●京阪三条駅より/京都バス63・64・65「西ノ京馬代町」下車徒歩2分、地下鉄東西線「西大路御池駅」下車徒歩12分 ●阪急西院駅より/市バス26・27・特27・91・202・203・205「太子通」下車徒歩5分 ※駐車場がございませんので、お車のご来場はご遠慮ください。

花園大学歴史博物館 無聖館4階
〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町8-1
TEL075-811-5181(代) FAX075-811-6664
http://www.hanazono.ac.jp



墨蹟 龜山大上皇聖諱啓建看藏經上堂語
鎌倉～南北朝時代(14世紀)【前期】



額字「両足院」 安慎徽筆 江戸時代・延宝6年(1678)【後期】

【前期】…… 4月2日[木]—5月9日[土]
【後期】…… 5月11日[月]—6月13日[土]
※会期中、大幅な作品の展示替を行います。